

委員からの主な質問と意見

Q 質疑 A 回答 O 意見



福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理について

- 委員** バグフィルター等についても、(表面汚染密度が)低いからいいという理屈ではなくて、外して持って帰るべきだったと思う。
- 委員** (放射性物質汚染対処特措法第13条第3項に基づき、北海道と環境省の間に協議はなかったのかという問いに対し) 個別の廃棄物処理の実施については、処理先である関係地方公共団体等と、(対策地域内廃棄物処理)計画とは別途調整しているということだが、どういう調整をしたのか。
- 環境省** 特措法に基づく協議ではないが、北海道や室蘭市とは、円卓会議の場も含めて話し合いをさせていただいた。
- 委員** 予定どおりに処理され、懸念が払拭されたのではないかと。福島の復興支援にもつながるものであり評価したい。職員の方々が個人線量計を装着し、全員が検出下限値未満であったということでは本当によかった。

北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

- 委員** (増設施設の)処理状況について、1都3県は74.4%ということだが、残りの期間から考えると、少し急いで処理しなければいけない状況なのか。
- JESCO** 合計の欄で、JESCOの登録に対して残りが2,000t弱であり、現段階では計画的処理完了期限を目指すところ。これから発掘されるものもあるので、そういう情報を踏まえながら、事業終了準備期間も交えて処理を終えるというところは間違いなく進めていきたい。

ご存知ですか？ 高濃度 PCB 廃棄物は以下の期限までに処理を委託することが必要です！

安定器及び汚染物等 令和5年(2023) 3月末日まで(あと4か月)

変圧器・コンデンサー 令和4年(2022) 3月末で終了

PCB 廃棄物処理事業に関するお問い合わせ

<p>中間貯蔵・環境安全事業株式会社 北海道PCB処理事業所 〒050-0087 室蘭市仲町14番7 電話：0143-22-3111 (代表) FAX：0143-22-3001</p>	<p>◀ウェブサイトはこちら</p>	<p>PCB処理情報センター 〒050-0001 室蘭市御崎町1丁目9番地8 電話：0143-23-7015 開館日：月～金 9:00～16:30 (土日祝・年末年始休館)</p>
--	--------------------	--

北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議に関するお問い合わせ

<p>北海道 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 E-mail: kansei.kanhai1@pref.hokkaido.lg.jp 電話：011-231-4111 (内線24-325) FAX: 011-232-4970</p>	<p>◀ウェブサイトはこちら</p>
<p>室蘭市 生活環境部 環境課 〒051-8511 室蘭市幸町1番2号 E-mail: kankyou@city.murooran.lg.jp 電話：0143-22-1481 FAX: 0143-22-7148</p>	<p>◀ウェブサイトはこちら</p>

回																				
覧																				

PCB 円卓会議だよりや監視円卓会議資料は、北海道および室蘭市のホームページでもご覧いただけます。 令和4年12月発行 **第57号**

PCB円卓会議だより

北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議だより



第57回 北海道 PCB 廃棄物処理事業監視円卓会議を開催

令和4年10月26日、PCB処理情報センターにおいて第57回監視円卓会議を開催しました。会議には、学識経験者、団体委員、公募委員の計11名の委員のほか、オブザーバーとして、環境省、近隣自治体、JESCOなど関係者が出席し、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物処理結果の説明や、北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況やトラブル事象などの説明を行い、これらに関する質疑や意見交換が行われました。



● 会議の概要

1 議事録について
 令和4年7月21日に開催された第56回監視円卓会議の議事録が承認されました。

2 福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理について
 環境省より、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理結果等について説明がありました。

3 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について
 JESCOから施設の稼働状況、PCB廃棄物の処理事業、トラブル事象及び令和4年度総合防災訓練について説明がありました。また、事務局からモニタリング測定結果や立入検査についての報告がありました。

福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理結果について (環境省資料より抜粋)

- 令和4年8月16日、福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物をJESCO北海道事業所へ搬入し、PCBの無害化処理を行いました。
- 高濃度PCBの処理後物については順次搬出を行い、令和4年9月5日に全ての処理後物をJESCO北海道事業所から搬出しました。
- 処理期間中は各種モニタリングを行い、各種測定結果については**異常値は認められず安全に処理を完了しました。**

1.空間線量率の測定結果

結果 福島県対策地域内の高濃度PCB廃棄物の処理による空間線量率の上昇は認められませんでした。

測定中、値の上昇が一部ありましたが、いずれも降雨があり、この際は原子力規制委員会のモニタリング(胆振総合振興局)においても、同様の値の上昇がみられました。

詳細は下記の【グラフ】を参照ください

2.JESCO職員における測定について

結果 個人線量計を装着した全員が検出下限値(0.1mSv)未満であることを確認しました。

北海道・室蘭市から要請された事項に基づき、JESCO北海道事業所で処理作業に従事する職員(計138名)に個人線量計を装着していただきました。

3.排気関係の測定結果

結果(排気中) 処理期間中における当初施設・増設施設からの排気中の放射能濃度については、**いずれの地点においても検出下限値(1.0Bq/m³)未満でした。**

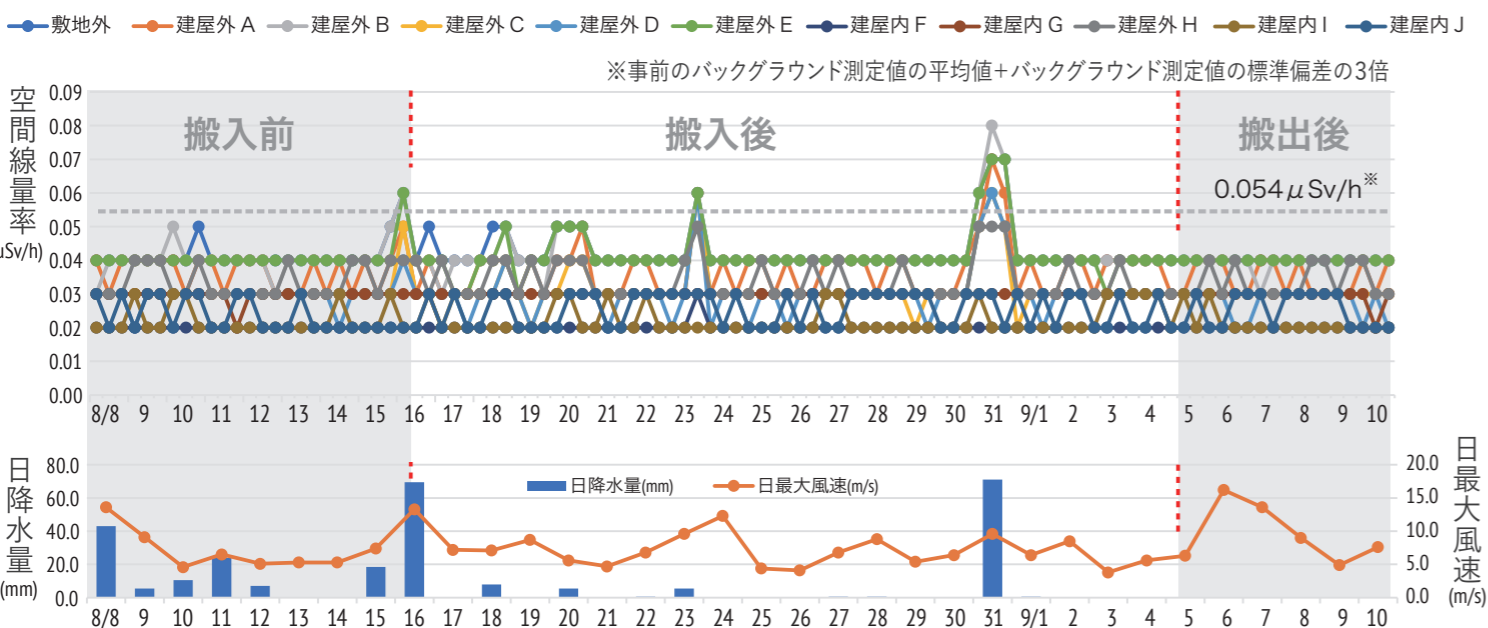
結果(ばいじん中) 増設施設で発生したばいじんの放射能濃度は30.0Bq/kg(処理前は4.1Bq/kg)であり、**通常の廃棄物と同様に処理する事が出来る基準(8,000Bq/kg)をはるかに下回りました。**

4.発生した処理後物について

- 高濃度PCBの無害化処理で発生した処理後物は以下のとおりで、それらは全て福島県へ持ち帰りました。
- 通常の対策地域内廃棄物と同様に、処分を行います。

【当初施設から】		【増設施設から】	
・素子くず	432kg	・スラグ	8,512kg
・金属くず	614kg	・ばいじん	752kg
・廃油	2,286L		
・廃アルカリ	1,706L		

【グラフ】JESCO北海道事業所における測定結果(空間線量率)



情報公開について

- 処理期間中、空間線量率等のモニタリング結果は以下の環境省ホームページにおいて毎日更新を行いました。
- 処理が完了した後のモニタリングとして、今後、空間線量率・排気中の放射能濃度を測定する予定です。
http://shiteihaiki.env.go.jp/initiatives_fukushima/waste_disposal/pcb_policy.html



北海道及び室蘭市が行った立会・調査等の結果について

1 現地保管状況の確認

令和4年7月28日から29日にかけて、全ての処理対象物が仮置き場に集約されたことから、福島県において搬出前の最終確認を行いました。

2 独自のモニタリング(クロスチェック)

環境省が行うモニタリングに併せて敷地境界等の空間線量率、搬入車両周辺の空間線量率、排気中の放射能濃度のモニタリングを実施しました。

3 搬入に係る立会・確認及び処理状況に係る立入検査

8月16日、24日、29日、9月5日の合計4回に渡り、搬入に係る立会・確認や立入検査を行いました。

結果概要

処理対象物の保管等は適切に行われており、各種モニタリングの測定値においても、環境省の測定値と同程度であることを確認しました。

北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

処理の進捗状況

令和4年8月末までの処理実績は、次のとおりです。

当初施設 (脱塩素化分解処理)	変圧器類		コンデンサー類	
	登録数	処理台数	登録数	処理台数
	4,156台	4,113台(99.0%)	69,413台	67,881台(97.8%)

注)登録数:令和4年8月末現在。 処理台数:試運転物を含む中間処理完了時点。

増設施設 (プラズマ熔融分解処理)	登録重量	処理状況			
		安定器	小型電気機器	感圧複写紙等	処理量計
	10,798,688kg	8,117,825kg	324,270kg	483,181kg	8,925,276kg(82.7%)

注)登録重量:令和4年8月末現在。 処理量:試運転期間(平成25年6月~8月)からの中間処理完了時点。感圧複写紙等には、汚泥等の汚染物を含む。

トラブル事象について

直近の監視円卓会議での報告以降に発生したトラブル事象(区分I~IV 令和4年4月以降)は0件でした。また、不具合事象12件及び不具合事象未満15件について報告がありました。不具合事象等の詳細は、北海道PCB処理情報センターで公表しています。

総合防災訓練について

- 令和4年9月14日に、総合防災訓練を当初施設と増設施設の合同で実施しました。想定事象:地震発生(震度5弱、事業所にて70gal)
- JESCO、MEPS、及び室蘭市消防本部の連携の下、予定された訓練項目を滞りなく行い、総合的な防災活動が実施できることを確認しました。(参加人員合計239名)

環境モニタリングの測定結果について

北海道及び室蘭市及びJESCOでは、処理施設からのPCB等の排出状況や周辺環境のモニタリングを実施しています。排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングでは全ての項目で目標値・基準値の超過はありませんでした。